

作業部会の開催概要について

○伊豆の国市かわまちづくり 作業部会(WG)の設置

◇目的と役割

- ・整備や利活用の内容、維持管理方策に関する個別検討を行う作業部会（WG）を設置。
- ・作業部会は、複数のWGを設置し、伊豆の国市かわまちづくり協議会委員及びこれまでの勉強会参加者で構成（適宜、構成員の増減は可能）。
- ・作業部会は、伊豆の国市かわまちづくりの個別検討を行うための協議会下部組織に位置。

◇伊豆の国市かわまちづくり 作業部会（WG）の設置

- ・協議会は、狩野川における水辺空間整備の実現、活用施策、維持管理やその周辺機能との連携及びその他必要な事項について検討。

| WG | 検討内容 |
|---------|---|
| 民間事業者WG | ・民間事業者による利活用(レンタサイクル、マルシェ、BBQ等)を中心に検討を実施 |
| 地域・祭事WG | ・地域の祭事(かわかんじょう、どんど焼き)や鮎釣り・川遊び体験等の生涯学習に関する利活用を中心に検討を実施 |
| 周辺整備WG | ・周辺交通アクセスや駐車場の整備に関する検討を実施 |

作業部会の開催概要について

○伊豆の国市かわまちづくり 作業部会(WG)の開催

伊豆の国市かわまちづくりの整備目標（目指すべき未来の姿）である「地域住民・観光客の自然・スポーツ体験拠点、祭事拠点」、「観光客の購買・飲食拠点」、「サイクリングの滞在拠点」、「市内周遊観光の滞在拠点」の実現に向けて、具体的な整備メニューや利活用策を検討する作業部会を開催しました。

第1回作業部会（地域・祭事WG、民間事業者WG）

日時：令和元年6月27日（木）14：00～16：00

場所：伊豆長岡庁舎3階 第1・2会議室

参加者：地域住民・団体代表者18名
（地域・祭事WG10名、民間事業者WG8名）



かわまちづくり協議会 中野会長
(道の駅伊豆のへそ駅長)ごあいさつ



作業部会の様子(作業部会設立などの説明)

地域・祭事WG



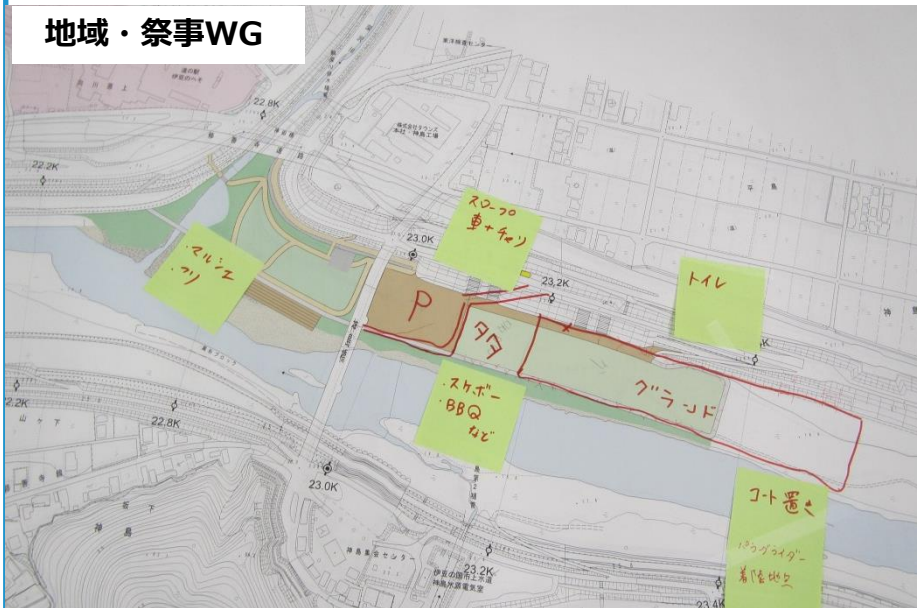
民間事業者WG



WGごとの話し合いの状況

【各WGから出された主な意見やアイデア】

地域・祭事WG



○サイクルスポットゾーンについて：

- ・上流側にもトイレの整備

○BBQ・出店ゾーン（多目的広場）について：

- ・多目的広場は駐車場とし、河川敷へ降りるスロープを整備
- ・駐車場以外の多目的広場を広げる整備（スケボー、BBQ等）
- ・グラウンドは多目的広場上流に移設 ※両側の整備道は不可
- ・グラウンドに降りる階段や天端のゴール置き場を整備
- ・グラウンド上流にパラグライダー着陸地点の整備

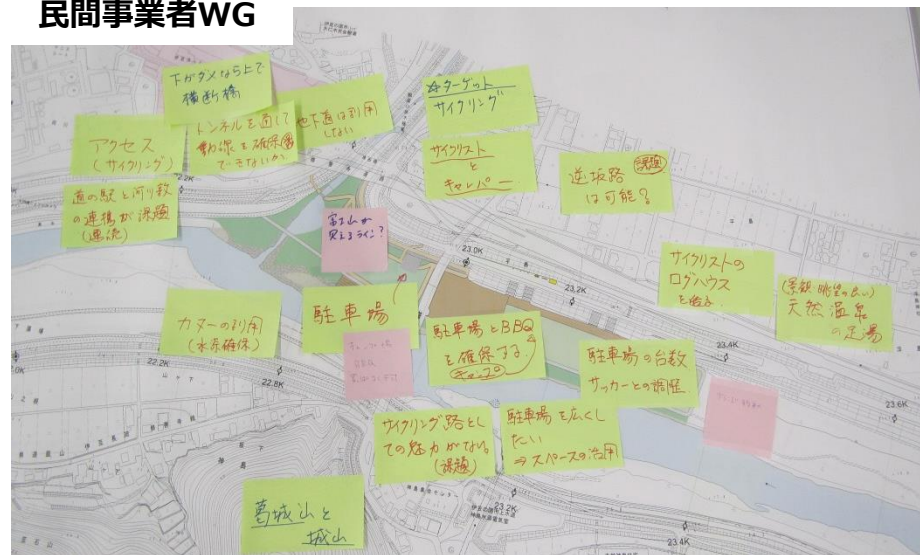
○遊び・イベント、狩野川原体験ゾーンについて：

- ・ヤナ釣り・釣りぼりとして魅力あり
- ・マルシェとして活用

○周辺整備ゾーンについて：

- ・堤防上へ上がる車道（スロープ）が狭い（車1台が通過可能）
- ・タウンズ横の堤防天端にも、少しでも駐車場を整備

民間事業者WG



○ターゲットについて：

- ・サイクリスト（ツーリング）
- ・キャンパー（イベント利用）

○サイクルスポットゾーンについて：

- ・サイクリスト用ログハウスの整備
- ・（景観・眺望の良い）天然温泉の足湯の整備

○BBQ・出店ゾーン（多目的広場）について：

- ・駐車場、BBQ、キャンプとして活用
- ・駐車場は広く、台数を確保して配置 ※サッカーと調整必要
- ・BBQ、キャンプ場は、常設としない

○遊び・イベント、狩野川原体験ゾーンについて：

- ・カヌー利用の整備 ※アユ釣り客とバッティングの可能性あり
- ・駐車場も整備、BBQとして活用

○周辺整備ゾーンについて：

- ・道の駅と河川敷のアクセスが課題、トンネルや横断橋の整備
- ・逆坂路の整備は可能であるか（課題）
- ・サイクリング路としての魅力がない（課題）

作業部会の開催概要について

第1回作業部会（周辺整備WG）

日時：令和元年7月25日（木）14：00～16：00

場所：伊豆長岡庁舎3階 第3会議室

参加者：行政関係者16名



作業部会の様子

【WGでの話し合い】

○道の駅とのアクセス改善について（歩行者・自転車）：

- ・道の駅から整備エリアへアクセスする隧道の階段は急傾斜で、湿っていて滑りやすいので、バリアフリーに対応したスロープなどの整備を検討する必要がある。
- ・国道414号の道の駅側の路肩は狭く、自転車での通過は難しいので、自転車の矢羽を引く等の整備を検討する必要がある。



○修善寺道路とのアクセス改善について

- ・国道414号線・伊東大仁線から神島橋へ向かう道の右折禁止箇所について、右折可能に改善できるか検討する必要がある。
- ・右折した先の神田橋と神島橋間の堤防天端の道路は、車が交互通行するには幅が狭いため、改善を検討する必要がある。



○現況アクセス路（市道等）の安全対策について

- ・神島橋上流の堤防天端の車止めを開放し、自動車が入れる移動ルートとすることは可能であるが、その場合、自動車通行帯と自転車通行帯を分ける等の検討を行う必要がある。



○その他

- ・水際の自転車道等は、マウンテンバイクなどのコースを設置することも民間事業者WG等で検討を進めて頂きたい。
- ・神島橋下流左岸について、パラグライダーの民間団体にニーズがあれば、着陸地点として占用することを検討する必要がある。

作業部会の開催概要について

第2回作業部会（地域・整備WG、民間事業者WG）

日時：令和元年8月22日（木）14：00～16：10

場所：あやめ会館3階 多目的ホール

参加者：地域住民・団体代表者12名

（地域・祭事WG 5名、民間事業者WG 7名）



かわまちづくり協議会 中野会長
(道の駅伊豆のへそ駅長)ごあいさつ

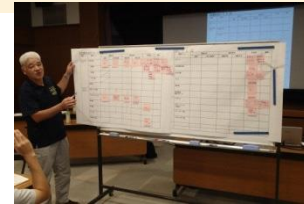


作業部会の様子
(第1回作業部会の開催概要等の説明)

地域・祭事WG



民間事業者WG



【WGでの話し合い】

WGごとの話し合い及び発表の状況

○整備について：

- ・基本的には、基盤整備は国、上物を市が整備していく必要がある。
- ・民間企業でできる整備として、中島公園～神島グラウンドの間に自転車のオフロードコースを設置する構想がある。
- ・サイクルスポットゾーンのログハウスや足湯は、整備する民間機関がないのであれば、不要である。
- ・スケートボード場の整備には常設が必要である。常設施設の整備は、協会等が実施していく必要がある。

○利活用について

- ・サイクルスポットゾーンの花の植栽は、地域住民の団体に利活用していく必要性はないので、不要である。
- ・堤防の傾斜を利活用してサッカーの見学等を行っている。
- ・かわかんじょうのスタート地点の整備を行うことで、利活用しやすくなる。
- ・スケートボード場を整備することで、大会等を開催することが可能となる。
- ・自転車のオフロードコースを設置することで、シクロクロス競技の大会等を開催することが可能となる。

○維持管理について

- ・平常時のグラウンドの維持管理は、大仁少年サッカークラブが実施している。
- ・出水時の維持管理には、国が関わる必要があるが、基本的には市が維持管理していく必要がある。